



車椅子ハンドボールは、障がいのある人、ない人、誰でも、一緒になって気軽にみんなで楽しめるスポーツです。スピード感あふれる、巧みな車いす操作(チェアワーク)、パスやドリブル、スペクタクルなシュート、ディフェンスやゴールキーパーとの攻防の駆け引きは、車椅子ハンドボールの魅力のひとつです。

車椅子ハンドボール連盟は、障がい者のスポーツの理念である「活力ある共生社会の創造」を目指して活動しています。障がいの有無にかかわらず一人ひとりの個性を尊重し、車椅子ハンドボール競技、しいてはスポーツの面白さ、楽しさを広く普及したいと思っています。

車椅子ハンドボール競技の全国大会は、皆様のご支援ご協力により22回を数え、年々充実してまいりました。昨年エジプトで開催された第3回世界選手権に日本が初出場し、第5位の成績を収めました。

今後も、連盟役員一同、全国各地域で車椅子ハンドボールに親しんでいただけるよう、国際大会で日本が上位入賞できるよう、各機関団体と連携を図りながら取り組んでまいります。

皆様に信頼される組織構築のため、ガバナンスの強化を図ってまいります。

今後とも、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

2025年1月
代表理事 半田忠史



設立 2003年(平成15年)3月31日

目的 本連盟は、日本における車椅子ハンドボール競技大会を統括し代表する団体として車椅子ハンドボール競技の普及および振興を目指し、もってこの競技の健全な発展とスポーツ文化の育成に寄与することを目的とする。

《日本の車椅子ハンドボールの歩み》

1985	京都障害者スポーツ振興会がルールを考案
1990	第1回全京都車椅子ハンドボール大会
2001	全国障害者スポーツ大会(宮城県)車椅子ハンドボールが公開競技となる
2003	日本車椅子ハンドボール連盟発足(初代会長 小西博喜)
2004	厚生労働大臣杯第1回日本車椅子ハンドボール競技記念大会 開催(姫路市)
2005	財団法人日本ハンドボール協会に加盟
2008	厚生労働大臣賞 日本車椅子ハンドボール競技大会に名称変更
2011	財団法人日本障害者スポーツ協会(現日本パラスポーツ協会)に準加盟
2014	文部科学大臣杯日本車椅子ハンドボール競技大会に名称変更
2016	第2代会長 木野実 就任
2017	一般社団法人日本車椅子ハンドボール連盟 設立
2018	第3代会長 豊田昌夫 就任
2022	第1回車椅子ハンドボール関東競技大会(新宿区) 文部科学大臣杯第20回日本車椅子ハンドボール競技大会(仙台市)
2023	第4代会長 半田忠史 就任 第1回みちのく車椅子ハンドボール大会(花巻市) 文部科学大臣杯第21回日本車椅子ハンドボール競技大会(堺市)
2024	チャレスポ! TOKYO 車椅子ハンドボール体験会(東京体育館) 車椅子ハンドボール&デフハンドボール体験会(霞ヶ浦文化体育会館) ビジョン・ミッション制定【下記参照】 日本代表選考会・強化練習会(大阪、東京) コーチ・レフェリー講習会(東京、京都、宮城) 第3回車椅子ハンドボール世界選手権に日本が初参加 文部科学大臣杯第22回日本車椅子ハンドボール競技大会(花巻市)

車いすハンドボールは、年齢や性別・人種、障がいの有無に関わらず多くの人と一緒に楽しむことができる多様性社会に適した国際的なスポーツです。

ビジョン VISION

だれもが夢をもてる豊かな社会をめざす

車いすハンドの楽しさを共有して
多様な人々が繋がり合い認め合う社会へ
輝く未来を創る
車いすハンドをスポーツの選択肢の一つに育て、
みんなに応援してもらえる魅力的な日本代表を世界へ

ミッション MISSION

普及・魅力発信

車いすハンドの普及と環境の整備に取り組み、
プレーヤーと家族を含めたすべての人の喜びを実現できる地域を拡げます

発展・競技力向上

車いすハンドの発展にむけて多領域の科学的な知見を活用し、
競技力向上のためにトレーニング方法を研究します

人と組織の育成

活力ある共生社会の実現につながる人“財”を育てます
社会規範に則り魅力ある活動を続けることで、
多くの人や企業の賛同と支援を得られるよう価値づくりに努めます

《世界の車椅子ハンドボールの動向》

- 1993 コーチングシンポジウム(ドイツ)で初めて試合が行われた。
- 2006 EHF ユース大会で初の公式試合が行われた。
- 2009 IHF が国際パラリンピック委員会に加盟
- 2013 ブラジル主催車椅子ハンドボール世界選手権開催 (IHF 非公式)
- 2015~欧州各国で車椅子ハンドボールネーションズトーナメント開催
- 2019 IHF 車椅子ハンドボールワーキンググループ開催
- 2020 IHF は2028年夏季パラリンピック(ロサンゼルス)での車椅子ハンドボール競技採択を目指し世界選手権の開催を公表するが下記(★)により見送りとなる。

★スウェーデン大会 COVID-19 パンデミックのため中止

2021 ★スペイン大会 COVID-19 パンデミックのため中止

2022 **第1回(4人制)車椅子ハンドボール世界選手権**

9/22~25 エジプト・カイロ
参加国 オランダ スロベニア エジプト
インド ブラジル チリ

大会結果 優勝:ブラジル 準優勝:エジプト
第3位:スロベニア

第2回(6人制)車椅子ハンドボール世界選手権

11/15~21 ポルトガル・レイリア
参加国 クロアチア スペイン ハンガリー ノルウェー
オランダ ポルトガル インド パキスタン

大会結果 優勝:ポルトガル 準優勝:オランダ
第3位:ノルウェー

2023 南米プライベートカップ(ブラジル)

2024 **第3回(4人制)車椅子ハンドボール世界選手権**

9.16-21 エジプト・カイロ
大会結果 優勝:エジプト 準優勝:アメリカ
第3位:ブラジル 第4位:フランス
第5位:日本 第6位:チリ
第7位:ポルトガル 第8位:インド



国際ハンドボール連盟(IHF)関連ページ→



《競技規則 2024 年版（概要）》

項目	4人制	6人制
競技時間	<ul style="list-style-type: none"> ・10分×2セット ・同点の場合、5分間のゴールデンゴール ・上記でも同点の場合、5本のシュートアウト 	<ul style="list-style-type: none"> ・20分-10分-20分 ・同点の場合、5分-5分-5分の延長戦 ・上記でも同点の場合、3人の7mTC
ボール	IHF公式サイズに準じた2号球（松やに使用不可）	
コート	40m×20m	
ゴール	3m×1.7m	
チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも2人の女性を含む、身体に障害のある最低8名、最大10名のプレーヤーで構成し、コート内には少なくとも1人の女性プレーヤーが必ず出場する。コート上のプレーヤーは誰でもゴールキーパーになることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも3名の女性を含む、身体に障害のある最低12名、最高16名のプレーヤーで構成し、コート内には、少なくとも1名の女性プレーヤーが必ず出場する。
チームポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・1～4ポイントのクラス分けを行い、コート上のプレーヤーの合計ポイントが、12ポイントを超えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1～4ポイントのクラス分けを行い、コート上のプレーヤーの合計ポイントが、17ポイントを超えない。
車椅子	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子の前部に水平バー及び1～2個の転倒防止装置を設置、床から座面までの高さは63cmを超えてはならない。 ・駆動輪の最大直径71cm 	
オーバータイム	<ul style="list-style-type: none"> ・3秒間を超えてボールを保持することは許されない。 	
ボールの取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを3秒間持つ或いは大腿の上に置いて車椅子のハンドリムを押しながら最大3秒間移動できる。 ・手がホイールから離れてから3秒以内にドリブル、パス、シュートをしなければならない。 	
得点	<ul style="list-style-type: none"> ・スペクタクルシュート（ゴールキーパーのダイレクト、360°回転、7mt）を決めると2点の得点 	<ul style="list-style-type: none"> ・インドア7人制ハンドボールと同様

※国内では普及の観点から、当面の間大会主催者の権限により、時間、ボール、チーム構成、ボールの扱い等の緩和ルールを認めている。

車椅子ハンドボール日本代表活動 および 世界大会出場等に向けた支援金の お願い

本連盟では、選手発掘事業を展開し、選手・スタッフを選考して日本チームを編成し、昨年9月、第3回世界選手権(エジプト)に初めて代表チームを派遣しました。

本連盟には、日本選手団の活動を完全に支えるだけの資金力に乏しく、選考練習会や強化練習会など、国内活動のみならず、海外派遣にも、選手・スタッフに多くの自己負担を求めざるを得ない財政状況です。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、引き続き日本選手団の国内活動や世界選手権大会への出場並びにパラスポーツとしてのハンドボール競技の普及振興のための支援金をお願いする次第です。

2025年1月

一般社団法人日本車椅子ハンドボール連盟

代表理事 半田 忠史

(右記のQRコードから、関連情報を参照願います。)

＜日本車椅子ハンドボール連盟の指針＞

【強化】 日本代表チームの国際大会出場

過去の全国大会の結果・写真・映像→

【普及】 障がい者のみ及び健常者と障がい者が一緒に参加する大会・体験会の開催



←共同通信記事 「広がれ 車椅子ハンド」

日本車椅子ハンドボール連盟

支援金について

昨年から開始した日本代表活動をはじめ、大会運営や普及を含む活動のための支援金を募集しています

詳しくはホームページをご覧ください

<https://jwhf.jp/#>

